



島根リザーブ通信



【予備自衛官1日間招集訓練で教育する山口本部長】

平成26年度がスタートしました。予備自衛官等の皆様におかれましては、お仕事などお忙しいとは存じますが、今年度も招集訓練への参加を宜しくお願い申し上げます。

平成25年度における島根県内の予備自衛官の訓練出頭率は89.7%でしたが、これは中部方面管内21個府県の中で一番高い成績でした。これも皆様が訓練招集の出頭に対する高い意識をお持ちになっているからこそその快挙であると改めて感謝申し上げます。

さて、今年は予備自衛官制度創設60周年です。因みに防衛省(発足当時の名称は防衛庁)創設60周年、航空自衛隊創設60周年でもあります。さらに島根県では、昨年出雲駐屯地が開庁60周年を迎え、出雲大社では60年ぶりの遷座祭が行われました。

予備自衛官の現在の員数は46,000人ですが、制度創設当初は15,000人でスタートしました。この15,000人の考え方は、当時、任期満了を迎える現役隊員約40,000人の約4割が農林水産従事者となることが予想され、彼らを対象とすることでその員数を確保できるというものです。

その後、予備自衛官の運用構想の変化に伴いその員数が度々増加し、昭和63年度に現在の46,000人の員数となりました。

今年度で60周年を迎えた予備自衛官制度が引き続き発展するには、皆様の協力が必要不可欠です。今年度も自衛隊島根地方協力本部は予備自衛官等の為に誠心誠意頑張りますので、宜しくお願い申し上げます。

掲 示 板



平成26年度 出雲駐屯地での予備自衛官5日間招集訓練日程が決定しました。

今年度から5日間連続及び2分割出頭のみとなりますのでご注意ください。

また、今年度より出雲駐屯地では宿泊施設の変更が予定されており、第3次訓練以降、宿泊場所及び宿泊数の減少が予想されます。できる限り希望通り出頭調整を受けたいと思いますが、出頭者数によっては、出頭制限等必要な場合がありますので、早期の出頭調整をお願いします。

第1次	7月10日(木)～	7月14日(月)	第13偵察隊
第2次	8月28日(木)～	9月 1日(月)	第304施設隊
第3次	10月30日(木)～	11月 3日(月)	第304施設隊
第4次	2月 5日(木)～	2月 9日(月)	第13偵察隊

出雲駐屯地以外での訓練出頭も調整できますが、人員数に限りがありますので早めの調整をお願いします。

平成26年度 予備自衛官補教育招集訓練日程は決定次第ご連絡します。

第47普通科連隊即応予備自衛官訓練開始式



4月13日(日)に米子駐屯地において第47普通科連隊訓練開始式が実施され、来賓として島根地本長が参列しました。

その後、訓練開始式に出頭している島根県内在住の即応予備自衛官8名(新規採用者2名を含む。)に対して、島根地本長による訓話を実施しました。



平成26年度 第1次予備自衛官1日間招集訓練模様

4月20日(日)に自衛隊島根地方協力本部(松江市)において平成26年度 第1次1日間招集訓練を実施しました。

予備自衛官採用者5名の出頭があり、申告、本部長からの教育及び制度説明等の訓練を実施しました。



【島根地方協力本部長に対する申告】



【訓練出頭者集合写真】

【島根地方協力本部長による教育】



予備自衛官マメ知識

－割愛により再就職したパイロットの予備自衛官への任用－

昨年12月17日に閣議決定された中期防衛力整備計画中に記載されている「予備自衛官等の活用」の項目には、「割愛により再就職する航空機操縦士等、専門的技能を要する予備自衛官の任用を推進する」とあります。この「割愛」というのは、航空機操縦士について、年齢構成の適正化を図るため民間部門に操縦士として再就職させる施策のことで、平成22年以降自粛していたのを今年度から再開することになったものです。

航空機操縦士を予備自衛官として任用する考えは、自衛隊として初めて導入されるものですが、米軍では既にこの枠組みがあり、多くの予備役のパイロットが活躍しています。下表は、米軍の現役と予備役(州兵を含む。)が保有する航空機の数を示したものです。予備役も非常に多くの航空機を保有していることが分かります。

機 種	現 役	州 兵	予備役	合 計
爆撃機、戦闘機(攻撃機)	1433	635	119	2187
偵察機、空中給油機、特殊作戦機	776	280	88	1144
輸送機、ヘリコプター	595	249	163	1007
練習機	1213			1213
合 計	4017	1164	370	5551